

ぼくの気持ち

見能林小学校 四年 横手 悠琉

よこて はる  
(敬称略)

ぼくは、人によくできついたり、ちよっかいをだしたりしてしまいます。これまでも、友だちのものを勝手にさわったり、使ったりしてきました。それを注意されてカツとなり言い合いになったこともあります。音楽の授業では、同じはんの人と横の人のじゃまをしました。話しかけたり、ふざけたりして授業のじゃまをしてしまいました。ほかにも毎日決まった友だちにハグをしたり急に抱きついたりします。「友だちは嫌がっているな」とは思うのですが、そのときは、なぜか、考えないまましてしまいます。しかし、後でいつも反省しています。物を取られた気持ちも考えず、悪いことをしてしまった。あの時の顔は悲しそうだったなあ。音楽の授業で活動をとめたときも謝れなかった。急に抱きついてしまった嫌われてしまったなあ。わかってはいるけどどうしても同じ繰り返しをしてしまいます。嫌われたくないと思うのにやっつけてしまいます。している時には、相手の気持ちを考えることを忘れていきます。後からは、反省するのに。

先生からも、「人との距離が近い」「人との距離は、片分あげる」と何度とも言われてきました。その時は、そうしなければと思うのですがすぐに忘れてまた、してしまいます。友だちが嫌がることを繰り返してしまうし、すぐに手が、出てしまうのでぼくは、みんなに嫌われていると思っていました。このままではいけない、みんなからは、いい人だと思われたいの、そんでないことをしてしまおう自分を何とかしないとけないと思ってきました。でも、どうしたらいいかが、わからずに同じことを繰り返しては注意され、反省する毎日でした。

そんな時、帰りの会の今日のキラッとさんを紹介するコーナーでぼくのことを発表してくれた友だちがいました。先生がいなるときに、静かに自習しようと言ったことを言ってくれました。びっくりしました。とてもうれしかったです。ぼくのことを見てくれる人がいる、いいところを見つけている人がいると思うとなんだか照れくさいような恥ずかしいような気がしました。みんなは、ぼくがいけないことをするとところもわかっているけれど、ちゃんといいいところも見えていたんだと思いました。

ぼくは、考えました。ぼくは、どうしても、自分をコントロールすることが苦手です。すぐにいい行いをしていい人になれと言われても難しいで

す。そこで、人に対して話したり、つぶやいたりする時には、プラスな発言をこころがけることを思いつきました。まずは、これからやっつけていこうと思います。少しでも、自分でみんなが思っているぼくのイメージを変えていけるようにしていきたいです。少しずつ、相手の立場に立って考え、行動できるようになりたいです。新しい自分に出会えるように。